

倫理審査委員会議事要旨

1. 日時 令和3年4月15日(木) 15:00～15:13
2. 場所 ミーティングルーム
3. 出席者 副院長、薬物依存治療部長、長嶋医師、事務部長、看護部長、
薬剤科長、矢崎外部委員、山岡外部委員

※委員の3分の2以上の出席がありましたので委員会を開催

4. 要旨

課題名 日本人覚醒剤乱用者での摂取からの経過日数推定等について
(申請者 薬物依存治療部長 平井慎二(新規))

【申請者】～倫理審査申請書に沿って説明～

【委員】選択除外基準が明確じゃないが、どのような方を選択し、また除外するのか。そういったところを明確にする必要がある。

【委員】あと、期間が明確でない。さらには目標症例数があれば良いと思う。これはどこかで発表する予定があるのか。

【申請者】(検査科)(臨床医学会)聞き取れない。

【委員】どの代謝物を測定するのか、測定を外注とする場合はどこに依頼するのか、測定費用に関する事項も明確にすることが必要かと思う。
また、研究計画書の⑦の記載が「インフォームドコンセプト」になっているが「インフォームドコンセント」だと思う。

【委員】現在10病棟入院中患者も対象になり得るのか。

【申請者】対象になる場合もある。2017年9月から2020年12月を対象としている。

【委員】最終使用からの経過日数がとらえられないかという要望も散見されるとあるが、どのような機関からなのか。司法関係が想像されるが、その場合、このような研究が司法の証拠になり得るということか。

【申請者】確かに司法関係の方も、日本人でのこういった研究ができない、と。海外では同意を取ってできるが、日本人での実態を知りたいとの声はある。

【委員】それは黄色人種としてのいうことか。

【申請者】日本での覚醒剤乱用者の場合でということで、こういう知見があると参考になるとのこと。

【委員】裁判ではどのくらい前に使ったかが重要なのか。それとも使ったことがあるかないかが重要なのか。

【申請者】あるかないか、だと思う。あくまでも参考ということである。

【審査結果】

課題名「日本人覚醒剤乱用者での摂取からの経過日数推定等について」

上記に申請について、書面の体裁を整えて修正のうえ、承認ということによろしいか。研究自体には意義あるものと思う。
→承認とする。

以 上